

NPO法人 かながわ外国人すまサポートセンター



ニュースレター No.28

“すまセン”の窓口ではスタッフが6ヶ国語で相談を受け付けています。
アパート探しの内見や契約後の問題発生など必要に応じて通訳を派遣します。

お気軽にお尋ねください。

ごあいさつ



葉と葉の隙間から零れ落ちる陽が秋を知らせてくれています。朝夕涼やかな風が街を吹き抜けるようになりましたね。

今年度、前半期のすまセンの活動は、相変わらず大忙しでした。

数日前に海外から家族で移住してきた家族の家探し、年金事務所への同行、多額の債務や突然の違法解雇問題、家賃滞納、在留資格、他県からのDV被害女性たちの家探しの依頼、ホームレス、緊急食糧支援など痛みや辛さを抱えている人たちの支援に追われました。

8月には毎年恒例となった「エイズ文化フォーラム」分科会にて多文化共生について皆で考え合う時間を持ち多様性とはどのような事なのかを学ぶ時間を得ることができました。

また、この夏大学生インターンシップが活動を共にし、私たちも清々しい空気を感じることができました。地域や社会の課題に生で触れたことのない学生たちが何を感じ、また何を実現しようとしているのか考えるだけでもわくわくします。

私たちができることは、一人ひとりの自立のお手伝いをすることです。家探しや家に関わるトラブル解消などのための支援もその中のほんの一部にすぎませんが、今後もサポートのハートを次世代に伝えながら多様性、多文化を大事にしながら活動を続けていきます。

かながわ外国人すまサポートセンター理事長 斐 安

2017年度 第一回 理事会 & 懇親会がありました！

2017年8月19日に行われた第一回理事会において、2007年に制定された「住宅セーフティネット法（住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律）」を受け、神奈川県としても方向性を模索しているという話が出ました。すまセンも今後どのように関わっていくかを検討する必要があるということで、次回理事会で「セーフティネット法」について学習し、今後の関わり方を検討していこうということになりました。

すまセンとして出来ることは何か？ 新たな可能性を探ります！

すまセンホームページ再編のお知らせ

念願のすまセンホームページのリニューアルが進んでおります。すまセンを利用してくださる日本語を母語としないみなさんが、スムーズに来所し、安心して相談できるような、ハートの伝わるページ作りをしています。楽しみにお待ちください♪（10月中に実施予定）





かながわ外国人すまいサポートセンター 理事

山田 達也 理事へ突撃インタビュー！

第一弾 

有限会社 エスク 代表取締役、全日本不動産協会 神奈川県本部 理事

設立当初から関わっておられる山田理事に、すまセンとの出会いや理事会の様子を聞きました。理事 山田達也さんは、いつも温和で、スタッフ達へいろいろと配慮をしてくださり、バザーへの協力も率先して支援してくださった印象深い理事のひとり。然しいつも信念を持っていて、すじの通った意見を一貫して述べられている。

Q.すまセンとの出会いは？

A.初代理事長の金廣照さんらが中心となって立ち上げた「すまいサポートセンター(以後、すまセン)」の総会時に、当時神奈川県国際課の国際課長水田秀子さんから声をかけられ、賃貸の管理事業を中心に行っている日本賃貸住宅管理協会や宅地建物取引業協会と共に声をかけていただいたことがすまセンとの出会いです。神奈川県との協働事業に、全日本不動産協会の窓口として関わるといことになりました。最初の総会の時、神奈川新聞やNHKが取材に来ている中で紹介されたことを覚えています。

Q.その当時の在日外国人の家探しの現状はどうでしたか？

A.やはり、敬遠されがちでしたね。生活習慣が違う、何かあったときに言葉が通じない、また学校に行きながら働いている人も多く、自宅にいない時間も長い、知らないうちに友達を呼んで一緒に住んでいる…などが理由でした。今のように空き家も多くなかったから、外国人は簡単に断られることが多かった。水商売や外国人はだめだという大家さんも多い時代でした。

Q.最初のころの理事会では、どのような話がされていましたか？

A.理事になったのは途中からでした。最初のころは民族団体も協力的で、県もしっかりと助成してくれていました。居住支援ネットワーク会議も年に3回ほど開かれていました。県の助成期間が終わった3年後からは、どのようにしてすまセンの財政を支えていくか、会員をどう増やしていくか…をよく話し合いました。

また、どうすれば外国人を不動産会社に受け入れてもらえるか、逆に不動産会社の課題をどう打開していくかということも主な内容でした。大家さんや不動産店へのケアについては、行政が枠組みをしっかり作

ってほしいという話もしましたが、行政はなかなか動かず…。(でもそのやり取りの中から、不動産店への研修や多言語資料の作成などを県から委託されるようになり、それは現在も続いています。)

Q.初代理事長の金廣照さんから裏安理事長に引き継がれた後、何か変わりましたか？

A.金廣照さんが理事長だったころは、立ち上げたころから金理事長の熱い想いが強かったし、満ちていた。いつも「本当はすまセンみたいな団体がなくても、(外国人が家を)借りられる社会がいいのだ！」と言っていました。

裏安理事長になってから、金理事長の想いをより具体化し現場に適したものになっていきました。裏さん自身が社会的弱者の支援をしてきたプロなので、いろんな経験と他団体とのつながりも多くて広い。それをもとに現場が必要としている具体的な支援を、いろんな専門性を持った団体とつながり、連携しながら運営してきました。さらに、最近になって国の政策として社会的弱者への視点が出てきて、やっと自分たちの求めてきたものに近づいてきたと感じています。

Q.すまセンにかかわっている中で、印象に残っていることは？

A.普段窓口で対応しているスタッフの皆さんとは、理事会後の懇親会などでお会いして、楽しく食事したり話したりする機会が多い(笑)。でも、相談者を連れてきて家探しをしているときなどは、とても真剣な対応をしているので感心します。こちらが7言えば10を理解してもらえる…、それは日ごろからつながりがあり、お互いに顔が見える関係だからこそできることだと思っています。

(ニュースレター29号「第二弾」に続く…)

8月からインターン生を受け入れています！

インターン生にインターンシップの動機を聞いてみました！

・中村 真志（桜美林大学）

大学2年生の春に3か月弱、ニュージーランドに留学していました。

現地では、自分が外国人という立場に立たされ、困ったことがたくさんありました。現地で出会った周りの方々のサポートのおかげで無事に留学を乗りきることができました。

その時の経験を生かし、今度は自分が日本で困っている外国人をサポートする側に回りたいと思っていました。そんな時に授業を通して「かながわ外国人すまいサポートセンター」の存在を知り、インターンシップに参加することを決めました。

・川野 沙季（神奈川大学）*長期：2018年3月まで

大学生になり、様々な授業を受ける中で、私は貧困に興味を持つようになりました。「何か行動したいけれど、何をしたらよいかわからない」そんな思いがずっと私の中にありました。

そんな時、授業の一環でアクションポートの方のお話を聞く機会があり、「行動しないと何も変わらない」ということに気づきました。

様々な立場の貧困に興味があった私は、多種多様な相談業務を行っている「かながわ外国人すまいサポートセンター」のインターンシップに参加することに決めました。このインターンシップを通して、授業で学ぶだけでは見えてこない外国人の苦悩の実態や実情を知りたいと考えています。

・和久 朗子（横浜市立大学）

私は大学でまちづくりについて学んでいます。すまいの問題や地域の課題解決に取り組むことも多いのですが、外国人を対象としたすまいの問題については考えたことがありませんでした。私自身、外国人と関わった経験があまりなく、外国人の抱える問題についてもぼんやりとした認識しかありませんでした。

今回のインターンシップを通して、日本に住む外国人の問題を知るだけでなく、その対処の仕方、また各機関との連携の仕方なども学んでいきたいと考えています。

・パク イェウン 朴藝恩（桜美林大学）

インターンシッププログラムに参加しようと思った理由は、まず日本の社会問題を知りたかったからです。韓国とはどのような違いがあるか比較をしたいと思います。次に、市民と関わってみたいと思ったからです。学校という場所では、学生と先生しか会えませんが、インターン先では市民はもちろん、特に「かながわ外国人すまいサポートセンター」では家探しに困る外国人と関わることが多くあります。最後に、横浜に愛着を持っているからです。日本に留学する前、東京へ旅行する時には必ず横浜に行っていました。横浜は関東の代表的な観光地でもあり、横浜の観光地はそれぞれが近いので観光しやすいと思っていました。横浜は自分にとって思い出のある地域なので、旅行だけにとどまらず横浜に深く関わりたいです。

インターン生の主な活動内容

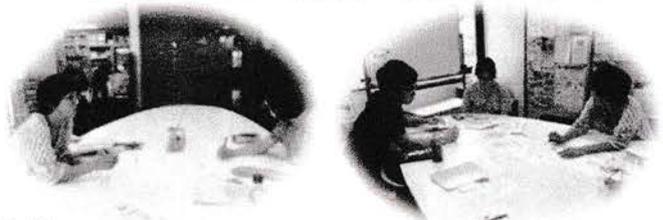
8/4 エイズ文化フォーラム

8/24 川崎居住支援協議会

8/30 神奈川県居住支援協議会

普段の相談窓口業務の補助 資料整理

印刷作業 パンフレット、ニュースレターの作成など



インターン生のひとりと

はじめまして。インターン生の和久朗子と申します。

私は昔から外国の文化や生活に触れるのが好きで、大学

生になってからは、長期休みになると海外に行っています。今年の夏はタ

イ・カンボジア・ベトナムの3カ国に行ってきました。個人で行ったため、分からないことだらけでしたが、その度に現地の方に助けていただきました。こんな短期間の旅行でも心細いのに、実際に文化も言葉も分からない中で日本で暮らしている外国人の方はどれほど不安だろうと思いました。インターンはまだ始まったばかりですが、相手の立場に立って考える姿勢を大切に、様々な視点から物事を捉えられるようになりたいです。

第24回

エイズ文化フォーラム in 横浜



セクシュアリティ・性、医療、教育、若者・ネット、薬物などがテーマとなっているフォーラムです。多くのボランティアや NGO、専門家たちが参加して公開討論会を行い、リアルな内容について話し合われていました。様々なテーマからの学びをもとに、平等で公正な社会作りを目指して、エイズ文化フォーラムは行われています。すまセンはその一部として、3年前から参加しています。



すまセン講座

本音で語る家探し～虹色の町を創ろう!～

今回のすまセン講座は、不動産店と家を借りる側の外国人の意見を聞くことと、川崎市住宅供給公社の石井さんのお話を聞くという内容でした。そのことをもとにグループで意見交換をしました。不動産店・大家、借りる側の外国人には、それぞれの立場があり、主張もあります。そこで大切なことは、貸す側と借りる側がコミュニケーションをとり、お互いを理解することだと分かりました。見た目や印象で人のことを判断するのではなく、その人を良く知ること、貸す側も借りる側も安心して生活を送ることが出来ると分かりました。



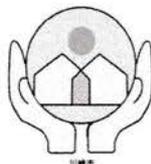
初めての家探しはたくさんの不動産店をまわりました。不動産店や大家さんと話が進まなかったりもしました。例えば家が借りられたとしても、私自身その環境になじめなかったです。

- 外国人 KC ディネスさんより



不動産店で良い物件が見つかったとしても、大家さんから許可が取れなくて、突然契約が取り消されたりします。そして外国人がトラブルを起ることを恐れ、契約に積極的ではありません。

- 不動産店 (株)川崎中央プランナー木村さんより



川崎市には、「川崎市居住支援制度」という制度があります。これは保証人が見つけれないためにアパートなどの民間賃貸住宅を借りられない方のための制度です。

- 川崎市住宅供給公社 石井さんより

わたしは留学生でもあるため、KC さんの話が胸にぐっと来ました。わたしは大学を卒業する前、日本で就職した場合、今住んでいる寮から出て家探しをしなければなりません。日本語が本当に上手なわたしの中国人の友達でも、日本で家探しするのにかなり苦労したようです。中国人だからうるさいとか、部屋の掃除をしないという偏見で、大家さんから拒否された経験があるようです。そのような問題がわたしの問題になるかと思うと怖くなりました。

外国人と不動産会社の取引には、様々な問題があります。その主なものは、言語の壁や偏見によるものだと分かりました。不動産会社と大家さんの利益や生活を考えると、外国人との取引を拒む気持ちを理解することはできました。しかし、これからのグローバル社会では、家を日本で借りる外国人がもっと増えてくると思います。そこでは受け入れる姿勢を広く持ち、すまセンのような団体と協力して問題を解決することが絶対に必要だと思いました。

桜美林大学のインターン生
朴藝恩の感想



桜美林大学のインターン生
中村真志の感想



多文化相談ボランティア養成講座 開催予定

2017年度多文化相談ボランティア養成講座 内容(予定)

入門編	10/28 (土) 10:00~10:50 会場: 横浜中央YMCA	多文化入門講座 講師: 妻安さん (NPO法人かながわ外国人すまいサポートセンター理事長)
第1回	10/28 (土) 11:00~13:00 会場: 横浜中央YMCA	在日朝鮮人と朝鮮学校の歴史と変遷 (仮) 講師: 李柄輝さん (朝鮮大学校教員)
第2回	11/18 (土) 9:00~11:00 会場: 横浜中央YMCA	日本の外国人政策と差別の実態 (仮) 講師: 田中宏さん (元龍谷大学教授)
第3回	12/9 (土) 10:00~12:00 会場: 横浜中央YMCA	世代を超えて多文化共生へ~在日外国人を取り巻く社会と課題~ パネリスト: 王遠偉さん、福島周さん (信愛塾スタッフ) ヒライ・デ・オサワ・エリサさん (小規模多機能ホーム介護士、相模原市スペイン語相談員) トルオン・ティ・トゥイ・チャンさん (外国人相談窓口相談員) コーディネーター: 河原希さん (明治大学大学院特任講師、日本多文化救済基金共同設立者、カリフォルニア州在日コリアン団体メンバー)
第4回	1/20 (土) 10:00~12:00 (予定) 集合場所などは 別途連絡いたし ます。	フィールドワーク (行き先は改めてご案内いたします。) コーディネーター: 柳晴実さん、飯島彩音さん (NPO法人かながわ外国人すまいサポートセンター)



多文化相談ボランティア養成講座は、横浜 YMCA との協働事業として、春と秋二回実施しています。
10月からいよいよ秋の講座がスタート!!
今回も他ではなかなか出会えない「深くて濃〜いお話」が盛りだくさんです!
ぜひご参加ください!
←内容や日時など変更する場合があります。



◆法人会員◆

徳永リアルエステート(株)、アイラボ株式会社、株式会社 大蔵湘南リビングセンター株式会社、有限会社 第一産業、徳増不動産株式会社 杉浦商事、(株)アーバン企画開発、叶 不動産有限会社株式会社 ハウスモリー、株式会社 昌栄、エス・ケーホーム(株) ジャパンハウジング(株)、株式会社 むげん、尾川企画不動産株式会社 海老名住宅センター、(株)アーティストユニオン 有限会社 東郊住宅社、尾川企画不動産、株式会社 秋津不動産(株) セントラルホームズ、株式会社 石川商事、有限会社 エスクオーキッド株式会社、(株)川崎中央プランナー、株式会社 イチイ(有) ラディアン・ワークス、株式会社 おかだハウジング株式会社 ダン・リビング、(有)ヤマカプランニング 豊一管財株式会社、株式会社 山一商事

新法人会員 紹介

今年度新たに3法人が法人会員に登録されました。(2017年4月以降)

- ◆株式会社 川崎中央プランナー
- ◆株式会社 アーティストユニオン
- ◆有限会社 寿不動産

◆団体会員◆

(公社)日本賃貸住宅管理協会 神奈川県支部
(公社)神奈川県宅地建物取引業協会
(公社)全日本不動産協会 神奈川県本部
(一社)全国賃貸不動産管理業協会 神奈川支部
(公社)神奈川県宅地建物取引業協会 川崎南支部
(一社)神奈川人権センター、横浜華僑総会
在日本大韓国民団、(公社)横浜市福祉事業経営者会



◆個人会員◆

横山 良一、邊 佳枝、武田 利邦、金井 信高、長田 誠、稲村 厚、高橋 修、北田 純一、高村 文子、妻安 竹口 秀夫、水田 秀子、西村 明夫、車 香 順、松本 アルベルト、加藤 一男、山成 健治、計屋 珠江 黛 雅男、星野 毅、高原 晶子、柳 晴 実、森川 洋子、坂田 雅子、阿部 孝子、長澤 勲、本山 寛子、笠間 和歌子
2017年新規: 雲野 由紀子、飯島 彩音、菅原 雪

◆賛助会員◆

宇佐美 里香、小儀 晃、棚田 雄三

(*2017年10月4日現在、順不同、敬称略。漏れがある場合はご連絡ください。)

今後とも皆様のご期待に添えるよう、頑張っていきたいと思っております!!
よろしくお願いたします!!

2017年度会費納入状況



相談窓口 & 対応言語

	10:00~13:00	13:00~17:00
月	スペイン語、英語、コリア語	スペイン語、英語、コリア語
火	英語、中国語	英語、中国語、コリア語
水	英語、中国語、コリア語	英語、中国語、コリア語
木	英語、スペイン語	英語、スペイン語
金	ポルトガル語、スペイン語、英語	ポルトガル語、スペイン語、英語、コリア語

◎月曜～金曜の午前10時～午後5時まで。

◎相談は、無料で受け付けております。

◎対応言語は日によって変わる事がありますので、お電話でご確認ください。



スタッフみんなでお待ちしてま〜す!!

会員入会・寄付のお願い

皆様のご理解、ご協力が「かながわ外国人すまいサポートセンター」の活動の力になります。会員となって私たちを支えていただければ幸いです。また、ご寄付も歓迎いたします。

正会員 年会費

(個人) 1口 5000円
(法人) 1口 10000円
(団体) 1口 100000円

賛助会員 年会費

(個人) 1口 3000円
(法人) 1口 10000円
(法人) 1口 10000円

*4月1日～翌年3月31日までの年度会費です。

振込先

【郵便局】

00270-5-39032

かながわ外国人すまい
サポートセンター

*手数料はお客様のご負担となります。

翻訳・通訳業務

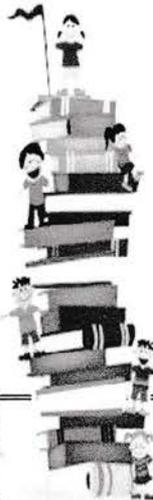
一般通訳や文書の翻訳を有料で行っています!

《対応可能言語》

英語・中国語・スペイン語
ポルトガル語・韓国朝鮮語
(その他の言語については
お問い合わせください)

《対応可能翻訳》

戸籍謄本・住民票・原戸籍
出生・結婚・離婚受理証明書
フィリピン統計局・DFA 証明書
雇用証明書・税金証明書等



- ❖ 通訳・翻訳料金については、お問い合わせください。
- ❖ 上記以外の翻訳についても、お気軽にご相談ください。
- ❖ 納期については、急なご要望にも対応できるよう努力いたします。
- ❖ 公証役場等での「公証」のご相談も対応いたします。

《編集後記》

*8月にインターン生を受け入れ、9月で短期インターン生の活動が終了。多様な相談者との出会いを経験し、若い感性で感じたことを語り合う姿はとても頼もしく、期間中に会った人たちがその考え方を柔軟に吸収していく姿に、これからの社会も捨てたもんじゃないな…と希望を持つことができた貴重な時間でした。

*短気インターンは終了しましたが、長期インターンは3月ごろまで活動が続きます。長期インターン生とともに、遅ればせながら外国人向けの「すません」パンフレット作製に取り掛かっています。ホームページも10月中旬に新しくなり、「すません」の広報を一層充実させていくつもりです。支援を必要とする人により多く出会い、より近い存在であり続けたい…、そんな想いがもつとたくさんの人たちに届きますように…。 (R・C)

アクセス

JR根岸線 関内駅 南口より 徒歩5分
市営地下鉄ブルーライン関内駅出口1番より
徒歩5分

みなとみらい線日本大通り駅より徒歩5分
横浜スタジアム向かい 横浜中央YMCA 2階

TEL: (045)228-1752 Fax: (045)228-1768

URL: <http://www.sumasen.com/>

Mail: sumai.sc@sumasen.com



ホームページもぜひご覧ください!